

市の天然記念物
「蓮台寺柿」上々

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】伊勢市藤里町にあるJA伊



色や大きさを確認しながら選果を行う作業員ら

勢蓮台寺柿共同選果場で24日、伊勢市の天然記念物「蓮台寺柿」の出荷が始まった。選果

担当者は「蓮台寺柿」を一つずつ手に取って形や傷の有無を確認した後、大きさを別に箱詰めして出荷した。

同JA担当者は「蓮台寺柿は歴史のある農作物。食べたことがない人もぜひ一度味わってほしい」と話した。

初出荷に向けて22日には、目ざろえ会も行った。部会員や同JAの職員、JA全農み

え、市場関係者ら約50人が参加し、選果の規格を確認した。

同部会は、生産者39人が「蓮台寺柿」を栽培している。作付面積は約16畝。本年度の出荷は11月中旬まで続く。

「蓮台寺柿」は、伊勢神宮のお膝元である伊勢市勢田町で350年前から栽培され、市の天然記念物にも認定されている歴史のある柿だ。「みえの伝統果実」や、県内の個性的でビジネス価値のある農林水産資源として

「三重のバイオトレジャー」に選ばれている。市場や消費者からの評判は高い。